

九都県市同日発表
埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県
横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市・相模原市

6月から9月は「夏季のVOC対策」重点実施期間です！ ～九都県市で連携して光化学スモッグ等の改善に取り組みます～

光化学スモッグは、気温が高く日射量が多い夏季を中心に、光化学オキシダントが高濃度となり発生します。

首都圏でも光化学スモッグ注意報が毎年発令されており、その対策には、主要な原因物質である揮発性有機化合物（VOC）の排出削減が重要です。

また、VOCの排出削減は、微小粒子状物質（PM2.5）等の低減にも有効と考えられています。

九都県市（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市）では、光化学スモッグ対策の一環として、6月から9月を「夏季のVOC対策」重点実施期間に設定し、事業者や住民に向けてVOCの排出削減を広く呼び掛け、光化学スモッグ等の改善に取り組みます。



- VOC等が大気中で化学反応を起こすことで光化学オキシダントが発生します。
- VOCは工場・事業場の他、自動車や屋外塗装、一般家庭など色々なところから排出されています。

1 重点実施期間

令和5年6月1日から令和5年9月30日まで

（光化学スモッグ注意報が発令されやすい7～8月及びその前後を含めた期間）

2 VOC排出削減に向けた主な取組

- 事業者や一般家庭で実施できるVOC削減手法の普及啓発

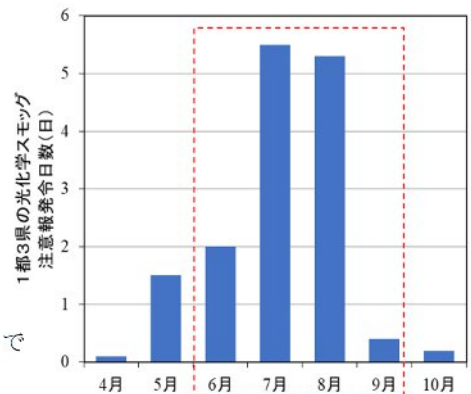
※九都県市あおぞらネットワークホームページ内の

「九都県市の取組」(http://www.9taiki.jp/ox/ox_countermeasure.html)で

具体的な取組を紹介しています。

- 事業者や業界団体に対するVOC等の原因物質削減の取組促進に向けた協力依頼
- 各都県市のホームページや広報紙を用いた情報発信

光化学スモッグ注意報 月別発令状況
（平成25年度から令和4年度平均値）



参考 | 光化学スモッグ注意報等に関する情報提供

光化学スモッグ注意報等が発令された場合は、各都県市のホームページやメール配信サービス等で住民の皆様へ周知を行います。光化学スモッグ注意報が発令された場合、屋外での激しい運動を控えましょう。

〔問合せ先〕

川崎市環境局環境対策部環境保全課 千室（ちむろ）

電話 044-200-2519

メール 30hozen@city.kawasaki.jp

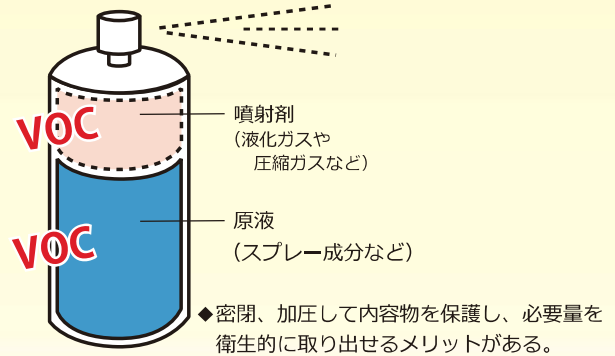
低 VOC 製品の選び方

VOCの排出削減には、一般家庭やオフィスでの対策が必要です。
VOCの排出が少ない製品を積極的に選びましょう。



①スプレー製品

スプレー製品の中でも、噴射剤と原液をバルブ付き容器に封入し、ガスの圧力によって霧状・ムース状にして放出する「エアゾール」製品の中には、ガスや原液に VOC が含まれているものがあります。



VOC の排出の少ないスプレー製品

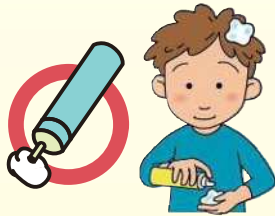
①霧吹き式、ポンプ式の製品

噴射剤を用いないため、
使用に伴いVOCが飛散しません。



②ムースタイプ

噴射剤中のVOC含有量が
数%と少なく、泡状で使用
するためVOC飛散量が少な
い特徴があります。



③定量型バルブ、タイマー式・プッシュ式の小型製品

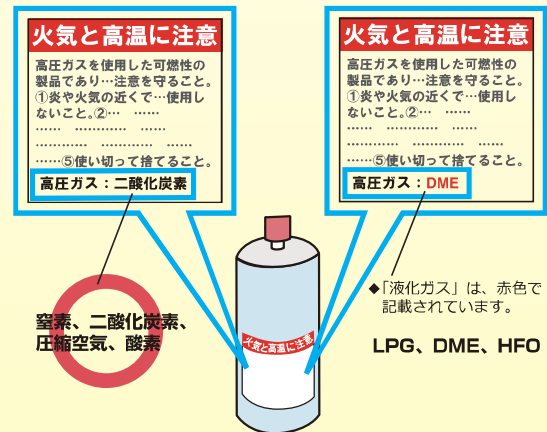
発射時に一定量が噴射されるため、
使用一回あたりのVOC飛散量を抑制できます。



④「圧縮ガスを使用した製品」

エアゾール製品の中から低VOC製品を選ぶ場合には、
「噴射剤」の種類に注目します。「圧縮ガス」を使用した
製品は、VOCが飛散しません*。

噴射剤にVOCを含まない圧縮ガスを使用した製品は、
容器ラベルの注意表示に黒字で使用ガス名が記載されて
います。



*: 「圧縮ガス」を使用した製品は、噴射剤に含まれる VOC は飛散しませんが、
スプレー成分に VOC を含む場合があります。

②塗料

塗料（ペンキ）の中でも身近な油性塗料には、有機溶剤として VOC が含まれています。



◎溶剤（有機溶剤、水性塗料では水）
下記①～③を溶かして塗りやすくする

- ①顔料：色を付ける
- ②樹脂：塗膜を作る
- ③添加剤：塗料の性能を高める（防カビ剤等）



VOC の排出の少ない塗料

①水性塗料

水に溶けるため、塗料希釈時にシンナーなどの有機溶剤の代わりに水で希釈できる塗料です。容器（説明書き等）に「水性塗料」「水道水で希釈できます」などの記載やマークがあります。

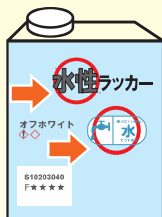


表示の例

水系塗料

水性

水性



②ホルムアルデヒド放出量に配慮した塗料 放出量に応じて等級づけされています。



表示の例

ホルムアルデヒド
使用していません



放出量が少なく、内装に制限なく使用できる塗料には「F☆☆☆☆」と記載されています

③非トルエン・キシレン塗料

トルエン、キシレン、エチルベンゼンの含有量がそれぞれ0.1%未満の塗料です。容器に「トルエン、キシレン不使用」というマークや表記があります。

非トルエン・
キシレン塗料

表示の例

トルエンキシレン
使用していません

（一社）日本塗料工業会の非トルエン・キシレン塗料自主表示ガイドラインの登録表示

④低VOC塗料

塗料に含まれるVOCが30%未満の塗料です。容器に「低VOC塗料」というマークや表記があります。



低VOC塗料（溶剤形）

表示の例



（一社）日本塗料工業会のガイドラインに基づく製品の表示

③接着剤

接着剤には、接着効果を発揮する樹脂などの他に、それを溶かすための有機溶剤として VOC が含まれています。



◎溶剤（有機溶剤、水性接着剤では水）
①～②を溶かして塗りやすくする

- ①樹脂：接着面の凹凸に引っ掛かり接着作用を発揮する
- ②添加剤：接着剤を柔らかくする（可塑剤）



VOC の排出の少ない接着剤

①水性接着剤

水に溶けているタイプの接着剤です。容器に「水性」などの表示があります。

水性

水性タイプ



②ホルムアルデヒド放出量に配慮した接着剤 放出量に応じて等級づけされています。

表示の例

ホルムアルデヒド
使用していません

JAJA-○○○○○
F☆☆☆☆

F☆☆☆☆
JIS

※「JAJA-F☆☆☆☆」は、日本接着剤工業会登録のノンホルムアルデヒド製品「ホルムアルデヒドを発生する原材料を使用していない製品」の表示



③4VOC 基準適合製品

トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの4物質の含有量が規定値を満たす製品です。商品に「JAJA 4VOC基準適合」の記載があります。

日本接着剤工業会登録
登録番号：JAJA-○○○○○
放出量区分：4VOC 基準適合
製造者名：○○○○○(株)
問合せ先：http://www.jajia.jp
ロット番号：○○○○○

JAJA 4VOC
基準適合

※エチレン酢酸ビニル共重合樹脂系エマルジョンを含有する接着剤はトルエン 0.05 重量%未満

